

※このメールマガジンはMSゴシック等の等幅フォントでご覧ください。

★もくじ★

[1] 1分で分かる姫路河川国道事務所の仕事「所長の一分メモ」
アカウミガメがやってきた！！

[2] お知らせ

- ①浸水想定区域図を指定・公表しました。
- ②ホームページ「話そうはりま」にライブカメラをアップしました。

[1] 所長の一分メモ file13

6月4日の早朝、東播海岸（明石市松江）にアカウミガメが産卵にやって来ました。3年ぶりのうれしいニュースです。孵化は約2ヵ月後。砂浜を海に向かってバタバタ歩くかわい小亀の姿が目に見えます。

こんな都会の中の住宅が隣接し、海水浴場として賑わう砂浜で、光や音などを嫌うアカウミガメの産卵が見られるのは大変珍しいことで、埋め立ての進んだ播磨灘の沿岸では、人工的に再生された砂浜も貴重な存在となっているようです。

東播海岸でのアカウミガメの産卵は昭和61年以降18回目になります。それまでの東播海岸は、大規模な海砂利採取の影響により砂浜が急激にやせ細り、台風などの強風による波浪で100m以上海岸が浸食されていました。

浸食で断崖のようになった海岸線が住宅地や工場の庭先に迫るようになり、地元からの強い要請を受け昭和36年から国が浸食防止対策に乗り出しました。当初は海岸線にコンクリートの防波堤を作る工事を進めていたのですが、環境や景観にも配慮し、昭和50年代後半からは、砂浜を再生する取り組みもあわせて行っています。

この再生された砂浜が、アカウミガメの産卵場となっているのです。アカウミガメのメスは夏の間日本の沿岸に産卵に来ますが、一回に百個前後の卵を約2週間間隔で2～3回産むそうです。

明石海峡で船との交通事故にあわず、無事にまた産卵に来てくれることを願っています。皆さんもどうか見守ってください。

*アカウミガメの産卵情報は、当事務所ホームページ(<http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/>)のトピックスに、記事を掲載していますので、是非ご覧下さい。

[2] お知らせ

- ①浸水想定区域図を指定・公表しました。

5月30日に揖保川水系 中川・元川、栗栖川、林田川、引原川の浸水想定区域図を指定・公表しました。

浸水想定区域図とは、大雨により河川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより求めたものです。

浸水想定区域図は、近畿地方整備局本局、姫路河川国道事務所、兵庫県関係部局、関係市町窓口及び当事務所ホームページ(<http://www.himeji.kkr.mlit.go.jp/>)で閲覧することが出来ます。

災害には普段からの心構えが大切です。「いざ」に備えるために、お住まいの地域の浸水

